

会 議 録

会 議 の 名 称	平成 27 年度第 3 回所沢市国民健康保険運営協議会
開 催 日 時	平成 27 年 11 月 11 日 (水) 午後 1 時 30 分 ~ 2 時 40 分
開 催 場 所	所沢市役所 高層棟 7 階 研修室
出席者の氏名	(別紙委員出欠席表のとおり)
欠席者の氏名	(別紙委員出欠席表のとおり)
説明者の職・氏名	様式第 2 号のとおり
報告事項	平成 27 年度 所沢市国民健康保険の財政状況等について (概要) (1) 国民健康保険特別会計収支実績について (2) 被保険者の減少と高齢化について (3) 平成 27 年度税率改正等について
会 議 資 料	報告(1) 資料 1 平成 22 ~ 26 年度の国民健康保険特別会計決算収支実績 報告(2) 資料 2 年齢階層別被保険者および総世帯数の推移 資料 3 月別被保険者数推移 資料 4 所沢市及び県内主な市の被保険者数推移資料 報告(3) 資料 5 国民健康保険税 (現年分) の調定額状況 資料 6 世帯別所得分布の当初予算と当初賦課における比較 資料 7 所得階層年齢別被保険者数の当初予算と当初賦課における比較 資料 8 平成 22 ~ 27 年度の軽減世帯数及び軽減人数
担当部課名等	健康推進部次長 須田 浩美 保健センター長 二上 清次 国民健康保険課長 粕谷 明彦 国民健康保険課主幹 森田 英明 国民健康保険課主幹 小川 和彦 国民健康保険課副主幹 森田 悟 国民健康保険課主査 古瀬 力 国民健康保険課主任 藤澤 祐介 収税担当参事 須田 春男 収税課長 関口 裕教 収税課主幹 小澤 一良 健康推進部国民健康保険課 電話 2998-9131

発 言 者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事 務 局	司会 開会
会 長	開会の挨拶
事 務 局	所沢市国民健康保険に関する規則（以下、規則）第 4 条第 3 項に基づき会議が成立している旨報告（委員 21 名中 15 名出席）。 規則（以下、規則）第 4 条第 1 項に基づき、議事進行を会長に依頼。
議 長	議事に入る前に事務局から何か説明はありますか。
事 務 局	「所沢市の会議の公開に関する指針」に基づき、3 報告事項、4 その他ともに公開でお知らせしております。 傍聴者に対しまして、会議資料を配布することになります。 なお、会議録の記録、確定につきましては、会議録は要約方式とし、発言者の委員名につきましては、委員とだけ記載いたします。 また、会議録の確定につきましては、会長にご承認をいただき署名確定をする方法といたします。 以上のとおりでよろしいかご審議をお願いします。
議 長	事務局からの説明のとおりでよろしいですか。
委 員	委員からの異議なし。
議 長	本日の会議の傍聴希望者はいますか。
事 務 局	傍聴希望者はありません。
議 長	報告事項「平成 27 年度 所沢市国民健康保険の財政状況等について」でございます。 事務局より説明をお願いいたします。

<p>事務局 (粕谷課長)</p>	<p>それでは、報告事項「平成27年度 所沢市国民健康保険の財政状況等について」説明させていただきます。</p> <p>配布の資料に基づきまして、ご説明申し上げます。では、概要(1)国民健康保険特別会計収支実績について、ご説明いたします。資料1を併せてご覧ください。</p> <p>1点目として、平成26年度と平成22年度を比較すると歳入合計額で39億2503万2千円の増加、伸び率として11.96%増加しています。一方で歳出は平成26年度と平成22年度を比較すると歳出合計で50億2430万8千円の増加、伸び率としては15.64%となります。</p> <p>2点目として、歳入の国民健康保険税は前回の税率改正(引下げ)を含めて毎年度減少しています。</p> <p>3点目として、歳出の保険給付費は、平成26年度と平成22年度を比較すると金額で16億660万2千円、伸び率で約7.5%と確実に伸びています。</p> <p>4点目ですが、ここで訂正をお願いします。</p> <p>「実質収支は、法定外運営費繰入金25年度約16億8千万円、26年度26億7千万円である。」を「実質的な収支は、25年度約16億8千万円、26年度約26億8千万円である。」に訂正をお願いします。</p> <p>ご説明に移りますと、実質的な収支は歳入決算額から歳出決算額を差し引いた上で、歳入の繰越金、基金繰入金、一般会計からの法定外繰入金などの要素を入れて計算したもので、25年度は約16億8千万円、26年度は約26億8千万円となるものです。</p> <p>続きまして、概要(2)被保険者の減少および高齢化について説明申し上げます。</p> <p>1点目として、資料2をお願いします。資料2の上段の表で右から2つ目の平成26年度6月末の合計被保険者数が97,251人、その右の27年度6月末の合計被保険者数が93,931人で3,320人の減少、3.41%の減少率となります。</p> <p>2点目として、同じ表で網掛けになっている部分、65歳から74歳までを見ますと平成22年度は31,873人、被保険者全体の32.0%、平成27年度は35,975人で全体の38.3%と、加入者の高齢化が進んでいます。</p> <p>3点目について、資料3をご覧ください。縦軸に被保険者数、横軸に平成24年度からの各月時点が記載されております。折れ線グラフの下降傾向により被保険者数の減少傾向が年々強くなっていることが</p>
-----------------------	---

分かります。

4 点目について、資料 4 をお願いします。当市と同規模の川越市・越谷市、少し規模は大きいですが川口市・さいたま市、首都近郊の戸田市・和光市、近隣の入間市・狭山市の被保険者数の推移を記載したものです。各市とも平成 25 年度中に減少が始まり、26 年度中（表でいう一番左の 27 年度）には減少が顕著になっています。

続きまして、（概要）の（3）平成 27 年度税率改正等について説明申し上げます。

1 点目として、資料 5 をご覧ください。上段は平成 27 年度当初予算でありまして、平均被保険者数を 98,300 人、旧税率を約 93 億 2 千万円、新税率で約 98 億 7 千万円と計算し、約 5 億 5 千万円の調定増と想定していました。

しかし、これまでの説明のとおり、被保険者数の減少や高齢化がありまして、表の下段にありますとおり、27 年 7 月に当初課税を行ったところ、平均被保険者数で当初見込みより 4,378 人減少したこともあって、新税率の調定額は約 93 億 9 千万円でした。しかし、その左の旧税率の調定額 87 億 9 千万円を見れば、税率改正の効果は約 6 億円あったこととなります。

2 点目として、資料 6 をご覧ください。こちらは、予算作成時と実際に課税した本年 7 月との世帯構成の比較です。世帯所得で 100 万円以下（網掛け部分）は 929 世帯増加していますが、101 万円以上は 1,397 世帯減少しており、低所得層世帯の増加が分かります。

続いて、資料 7 をお願いします。この表は世帯所得ごとに構成年齢で分析した表になります。ほとんどの階層で微減であるなか、太線で囲った 3 階層、33 万円以下の 65 歳から 69 歳、100 万円以下の 65 歳から 69 歳、同じく 70 歳～74 歳までが顕著に増加しており、低所得の高齢者の増加が読み取れます。

次に（概要）の 3 点目として、資料 8 をご覧ください。こちらは 7 割・5 割・2 割の軽減世帯数を表したものです。平成 23 年度には約 30% であった軽減世帯が平成 27 年度には 40.7% まで上昇しています。

最後になりますが、これらの傾向を踏まえまして、先ほどの資料 3 の折れ線グラフの今年度（一番右側）は、より急な減少傾向を示しています。そして、高齢者の割合が高くなっていることから保険給付費（医療費にあたるもの）の伸びは鈍化したものの、被保険者数の減少に比例した減少までには至っておりません。これらの劇的な状況の変化から、国民健康保険財政の安定運用に対する財政措置として 12 月

		補正予算(約20億円)を考慮中であることを報告して議題3の説明とします。以上でございます。
議	長	事務局から説明のありました内容につきましてご意見、ご質問等がありますか。
委	員	資料1「平成22～26年度所沢市国民健康保険特別会計 決算収支実績」中の平成26年度繰入金その他市単独分の27億9,295万1千円から、如何にして概要で示した「(1)国民健康保険特別会計収支実績について」4の26年度実質的な収支約26億8千万円へと計算されるのか説明いただきたい。
議	長	説明をお願いします。
事 務 局 (森 田 主 幹)		資料1の平成26年度繰入金その他市単独分の27億9,295万1千円は、運営費繰入金26億1,896万4千円と保険給付費支払基金繰入金1億7,398万7千円の合計です。概要4の実質的な収支約26億8千万円については、まず、歳入歳出差引L欄の415,079千円から基金繰入金173,987千円を引きます。その上で、歳出I欄の備考欄に記載のある保険給付費支払基金積立金528,000千円を足して、歳入i欄の運営費繰入金2,618,964千円を引いた金額です。
議	長	他に、ご意見、ご質問等がありますか。
委	員	資料3について年度当初から年度末にかけて被保険者数が減少している理由を伺いたい。
議	長	ただ今のご質問につきまして、事務局から説明をお願いします。
事 務 局 (粕 谷 課 長)		社会保険離脱による加入数が減少する一方で、社会保険加入による喪失数が増加している状況が理由の一つと考えられます。
議	長	他にご意見、ご質問等がありますか。
委	員	年度末に向けて被保険者数が減少していく理由等についてもう一度説明いただきたい。
事 務 局 (粕 谷 課 長)		資料3の分析の中で、例年3月から5月にかけて転出入や就職退職により増減し、それ以降減少傾向にあることを示したものです。
議	長	資料3について、国民健康保険から社会保険に異動したことなどによる被保険者数が減少したことを示すために作成したものなのか。そ

	うであるならば、当該資料が減少傾向とその理由についてわかるような説明をした方が良かったのではないか。
事務局 (粕谷課長)	全体の被保険者数の減少傾向を示したもので、理由の裏付けとなるものがあって示したものではありません。
議長	他にご意見、ご質問等ありますか。
委員	この4・5年は被用者保険の加入者数が増えている。日本年金機構による厚生年金への適用促進が強化されていることから、社会保険への加入が増加していると考えられます。
議長	他に意見等ありますか。ないようですので、4その他について事務局より説明をお願いします。
事務局 (粕谷課長)	<p>その他について説明申し上げます。追加資料をご覧ください。</p> <p>としましては、平成26年度における平均被保険者数に占める保険証を使用していない無受診者数の割合を示したもので、11.0%の方が保険証を使用していないこととなります。としましては平成27年9月請求分高額レセプト請求件数を示したもので、総レセプト件数120,935件の内、500万円超えが5件、200万円超えが47件、100万円超えが230件となっており、参考までに500万円超えの高額レセプト5件について、レセプト金額順に主な疾病を示したものです。</p> <p>これらの国保データやレセプトデータを分析しまして、保健事業実施計画(データヘルス計画)を作成中です。データヘルス計画については、埼玉県国民健康保険団体連合会の評価委員会の審査をうけたのち次回2月の運営協議会でご報告します。</p>
議長	ありがとうございました。ただ今の説明について、ご意見、ご質問等ありますか。
委員	年間で保険証を使用しなかった国保加入者が約1万人いますが、その加入者に対して市の方で表彰等はしないのか。
事務局 (粕谷課長)	現時点では計画しておりません。
委員	保険を使用しなかった場合にその加入者を対象に健康維持のため、どのような日常生活を送っているか等についてアンケートを実施して、その内容を公表し他の国保加入者への健康増進に生かしてはどうか。
議長	他にご意見等ありますか。

委員	<p>医者嫌い・病院嫌いの方が突然心筋梗塞等で通院・入院というケースがあったり、定期的に受診されている方でも長寿を全うされている方もいると理解していますので、必ずしも未受診者約1万人の方が健康ということではないと思われま。</p>
議長	<p>ありがとうございました。他にご意見、ご質問等がありますか。</p>
委員	<p>歳出が歳入を上回っている状況ですが、どうして一般会計から補填しなくてはいけないのか。また、これ以上の一般会計からの繰入金を防ぐためにはどうしたらいいのかという議論がなされていないようだが如何か。</p>
事務局 (粕谷課長)	<p>今回の会議は平成27年度財政状等況の報告ということで開催したものです。現在、保健事業におきましては、保険給付費抑制のために重症化予防対策やジェネリック医薬品の推奨にさらに力をいれ、また、保険税収納額についても収納額が減少傾向にありますので、収納率向上に取り組んでまいりたいと考えております。</p> <p>今後、平成30年度の国保広域化の話もあり、データを揃えた上でご審議をお願いする時期がきますので、その際はよろしくお願ひします。</p>
議長	<p>他にご意見、ご質問等がありますか。</p>
委員	<p>国保被保険者受診状況について、無受診者が10,590人というデータが「アクロシティーからデータ抽出」とありますが、どのようなシステムなのでしょう。</p>
事務局 (粕谷課長)	<p>「アクロシティー」とは国民健康保険課で使用しているデータシステムの名称であり、当システムより無受診者を抽出したものです。</p>
委員	<p>「アクロシティーシステム」についてどこの企業が運営・管理しデータの信憑性はどれくらいありますか。</p>
事務局 (粕谷課長)	<p>「アクロシティーシステム」については、資格・給付管理を行うシステムですが、そのシステムを運営・管理している企業については、本市においてプルポーザル方式により選定した企業であり、データについては自信を持って提示しています。</p>
議長	<p>他にご意見、ご質問等がありますか。</p>
事務局 (粕谷課長)	<p>先ほど説明に使用しました資料1の最下段にあります「保険給付費支払基金」について説明申し上げます。</p> <p>平成26年度の基金残高に約5億2千万円とありますが、平成27年度に約1億7千万円、26年度に赤字補てんのため3億5千万円を充用し、現在の基金残高はありません。この5億2千万円ですが、く</p>

	<p>すのき台（所沢中央病院脇）にあった第二市民ギャラリー用地の売却代金を積立てたものでした。基金への積立てについては、市長・副市長や部長職で組織する政策会議で決定しました。</p> <p>その後も、「旧所沢浄化センター跡地」を約 33 億円で(株)KADOKAWAへ市議会の議決を経て売却し、クールジャパンの総本山とも言える文化コンプレックスと街づくりの実現を目指すこととなりました。</p> <p>これも、同様に政策会議において審議がなされて別の基金に積立てられたことを報告します。</p> <p>以上です。</p>
議 長	<p>ただいまの事務局の説明について、ご意見、ご質問等ありますか。ないようですので、議事は終了します。</p>
職 務 代 理	<p>閉会の挨拶</p>
事 務 局	<p>閉会</p>
会 長 署 名	

			平成27年11月11日(水)開催
代表区分	推薦依頼先		氏名
被保険者代表	所沢青色申告会		竹島美保子
	いるま野農業協同組合	×	鹿島正之助
			諸星賀津美
	所沢市連合婦人会		山路洋子
	所沢商工会議所	×	吉澤富江
	所沢市自治連合会	×	高柳進
保険医又は 保険薬剤師代表	所沢市医師会		柳内仁
			駒崎敏郎
			黒河圭介
			竹内昭彦
	所沢市歯科医師会		田中利幸
	所沢市薬剤師会		安達秀夫
公益代表	市長が定める者		大舘靖治
			君田典子
			吉野貞治
	所沢商店街連合会	×	宇佐美保政
	所沢市民生委員・ 児童委員連合会		鈴木公子
	連合埼玉西部 第四地域協議会	×	浅見富美明
被用者保険等 保険者代表	全国健康保険協会 埼玉支部		篠原千代三
	公立学校共済組合 埼玉支部	×	竹内正明
	西武健康保険組合		佐瀬満雄
任期 平成28年12月31日まで			